

SIP自動運転 地域自動運転サミット 概要

1. 日時：2021年3月25日(木) 14:50-17:30
2. 場所：TOC有明 4F コンベンションホールWEST
3. 概要：地域における自動運転サービスの円滑な導入と継続的な運用を促進するため、各地域における課題解決に向けた現場における知見や課題について、関係者間で共有を図るとともに、その解決方策について議論する場を設け、地域や自動運転に関するステークホルダー間の連携強化を目的として開催。
4. 来場者等：来場者105人、オンライン視聴2000回超
5. 会場の様子

三ツ林内閣府副大臣、江島経済産業副大臣及び地域の首長



第1部：地域の課題解決 パネルディスカッション



第2部：次世代公共交通システム パネルディスカッション



プログラム

サミット開会式

開会挨拶

三ツ林内閣府副大臣
江島経済産業副大臣、
大西国土交通副大臣(渡辺審議官代読)

基調講演 (SIP自動運転・葛巻PD)

各地域紹介の首長スピーチ + 地域紹介動画
(飯南町、永平寺町、上小阿仁村、北谷町、東近江市)

市民ダイアログ・パネルディスカッション

第1部 地域の課題解決

第2部 次世代公共交通システム

バス事業者 (みちのりHD、西鉄)、自動運転ベンチャー企業
(BOLDLY、ティアフォー、ZMP)

SIP自動運転 中間成果発表会 概要

1. 日時：2021年3月25日(木) 13:00-17:00、3月26日(金) 10:00-17:00
※オンライン展示は4/30まで継続 (<https://sip-adus-showcase.com/>)
2. 場所：東京ファッションタウンビル西館2F TFTホール1000 (リアル会場とオンラインのハイブリッド形式)
3. 概要：
 - SIP第2期自動運転成果発表会、地域自動運転サミット、社会受容性シンポジウムを一体的に開催。地方からの来場者に対して、1日で全体を見ることが出来るように、地域自動運転サミット等への参加者には、発表会の事前入場を可能とした。
 - ガイドツアー、オンラインガイドツアーを開催するとともに、3Dウォークスルー、解説動画(ショート12分、ロング24分)を順次提供。
 - 2日間の会場への来場者は359名(76名がガイドツアーに参加)、オンライン参加は738名(166名がガイドツアーに参加)の合計1,097人。内閣府の三ツ林副大臣、覚道審議官(科学技術・イノベーション担当)、経済産業省製造産業局の福永審議官が視察。

オンライン展示Webトップページ、解説動画



三ツ林内閣府副大臣



ガイドツアー



3Dウォークスルー



会場の様子



東京臨海部実証実験('19年10月開始)と連携した取組



'19年9月～ ポスター、チラシを作成：東京臨海部実証実験の実施地域の自治体、住民等への説明、町会や自治会を通じた個別配布、掲示、沿線駅（りんかい線、ゆりかもめ）への掲示等



'19年10月 ウェブサイト：東京臨海部実証実験公式ページ開設
東京臨海部実証実験に関するプレスブリーフ、参加予定車両及び車載器の展示



令和元年10月～令和3年3月末 自動運転車実証実験

！東京臨海部の道路をご利用される皆様へ

- 交通インフラから提供される位置情報、道路情報等と連携した安全な自動運転の実証実験を実施いたします。
- 本実験では、道路の状況に応じて、安全にドライバーが運転し、安全に走行し、目的地に到着するまで自動運転を行います。

実証内容

- 1 臨海副都心地区**
首都圏の交通インフラと人的資源の両方から、最先端の技術と人材を結集し、最先端の実証実験
- 2 首都高速道路等**
ETCゲートや信号機の制御や、ETCによる交通の流れを最適化する実験
- 3 羽田空港地域**
首都圏の交通インフラと人的資源の両方から、最先端の技術と人材を結集し、最先端の実証実験

お問い合わせ：03-5308-0909

'19年12月～ 東京臨海部実証実験参加者動画の配信(金沢大学/名城大学/中部大学、名古屋大学、VW、埼玉工業大学、ジェイテクト/BOLDLY/先進モビリティ、ヴァレオ、トヨタ/日野、トヨタ、ポッシュ、SUBARU、日産、コンチネンタル、ホンダ、三菱自動車、三菱電機、ティアフォー、ダイハツ)

- '20年3月 首都高速実証実験開始
- '20年6月 羽田空港地域実証実験開始
- '20年9月 東京臨海部実証実験取材ツアー
- '20年11月 羽田空港地域関係者試乗会
- '21年4月 メディア試乗会、プレスブリーフ



メディア向け試乗会の概要

目的：

SIP自動運転における協調領域の取組の成果（高精度3次元地図、信号情報提供環境の提供等）が、各社の最新モデルに搭載されている高度運転支援や自動運転システムの製品化に貢献していることを、メディアを対象に、SIP自動運転の取組の説明や東京臨海部実証実験の参加者車両への試乗等により、SIP自動運転の社会的意義や自動運転の現状への理解を促進

概要：

1. 日程：2021年4月20日(火)～21日(水) 8時～18時
(実証実験車両については、9時～17時)
2. 場所：大江戸温泉駐車場（東京都江東区青海 2丁目6番3号）及び
東京クルーズターミナル第2駐車場(コンチネタル)
3. 試乗車の技術要件
高精度3次元地図、交通環境情報（信号情報、合流情報、規制情報など）を少なくとも一つ以上使用するレベル2～4の車両で、実証実験車両又は既に商品化されている車両
4. 出展社等(試乗車等)
ヴァレオ(DRIVE4U® レベル4相当ADS 1台)、金沢大学(Lexus Rx450hL改 市街地におけるレベル4相当ADS 2台)、
コンチネタル(レベル4を目指したADS車両2台(乗用車タイプ、EasyMile改))、スバル(LEVORG 3台)、
ティアフォー(JPN Taxi改 2台)、トヨタ(LEXUS LS 1台、TOYOTA MIRAI 1台)、日産(スカイライン 2台)、
ホンダ(LEGEND 4台)、日野・トヨタ(展示:自動運転機能付きSORA 1台) 計9社
5. 参加者
SIP自動運転(システムとサービスの拡張)、出展社等とつながりのある
メディア関係者



	メディア数	参加人数
20日(火)	24社	53名
21日(水)	30社	49名
合計	54社	102名

地方部における移動・物流サービスの実証実験等

令和3年5月時点

(短期の実証実験)

○ H29～30年度：18箇所
(※長期、社会実装箇所を含む)

(長期の実証実験)

● H30年度～：8箇所
(※社会実装箇所を含む)

(社会実装)

○ R元年度～：2箇所

【社会実装】R1.11/30～

秋田県北秋田郡上小阿仁村
(道の駅かみこあに)

【長期の実証実験】

実施期間：H30.12/9～H31.2/8
使用車両：ヤマハ

ひろおぐん たいぎちょう

北海道広尾郡大樹町
(道の駅コスモール大樹)

【長期の実証実験】

実施期間：R1.5/21～R1.6/21
使用車両：先進モビリティ

ひがしおきたまぐん たかはたまち

山形県東置賜郡高畠町
(道の駅たかはた)

なごあかし

新潟県長岡市
(やまこし復興交流館おらたる)

なんとし

富山県南砺市
(道の駅たいら)

ぐじょうし

岐阜県郡上市
(道の駅明宝)

とちぎし にしかたまち

栃木県栃木市西方町
(道の駅にしかた)

ひたちおおたし

茨城県常陸太田市
(道の駅ひたちおた及び
高倉交流センター)

【長期の実証実験】

実施期間：R1.6/23～R1.7/21
使用車両：ヤマハ

たにいみし

岡山県新見市
(道の駅鯉が窪)

いはいしぐん いいなんちょう

鳥根県飯石郡飯南町
(道の駅 赤来高原)

【長期の実証実験】

実施期間：R2.9/1～10/10
使用車両：ヤマハ

ふべし

山口県宇部市
(楠こもれびの郷)

ふくおかみやま市

福岡県みやま市
(みやま市役所 山川支所)

【長期の実証実験】

実施期間：H30.11/2～12/21
使用車両：ヤマハ

いなし

長野県伊那市
(道の駅南アルプスむら長谷)

【長期の実証実験】

実施期間：H30.11/5～11/29
使用車両：先進モビリティ

とよたし

愛知県豊田市
(道の駅どんぐりの里いなぶ)

【社会実装】R3.4/23～

ひがしおあかし たてはたちょう
滋賀県東近江市蓼畑町
(道の駅 奥永源寺 溪流の里)

【長期の実証実験】

実施期間：R1.11/15～12/20
使用車両：ヤマハ

あしきたぐん あしきたまち

熊本県葦北郡芦北町
(道の駅 芦北でこぼん)

【長期の実証実験】

実施期間：H31.1/27～3/15
使用車両：ヤマハ

おあつし

滋賀県大津市
(道の駅 妹子の郷)

グラム

Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

地方部における移動・物流サービスの社会実装に係る取組

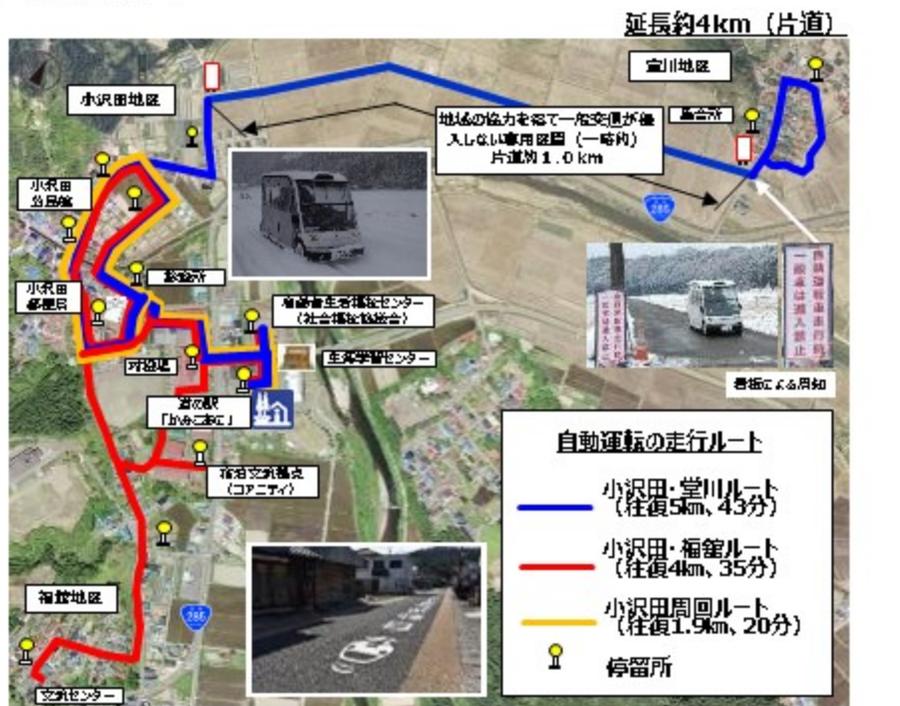
道の駅「かみこあに」

'19(R1)年11月30日サービス開始

■運営体制

運営主体	NPO法人 上小阿仁村移送サービス協会
サービス	高齢者の送迎 農作物や日用品等配送※ 等
運賃・運送料	運賃 : 200円/回 運送料 : 200円/回※
運行スケジュール	定期便 : 午前1便 デマンド : 定期便の隙間の時間、土日 ※運送関係については着手時期調整中

■走行ルート



※地域のご意見や運行時期の特性等踏まえながら、運行計画等随時見直し予定。本車はR2.6月末時点の情報。

道の駅「奥永源寺溪流の里」

'21(R3)年4月23日サービス開始

■運営体制

運営主体	東近江市役所 (東近江市が実施主体となる運行事業者協力型自家用有償運行)
サービス	高齢者の送迎、観光客の利用 (登山、キャンプ) 農作物や日用品等配送 等
運賃・運送料	運賃 : 150円/回 ※他、定期券、回数券も販売予定 運送料 : 100円/回
運行スケジュール	運行日 : 週4日 (土・日・水・金) 定期便 : 午前2便 午後4便 計6便

■走行ルート

